

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和 7 年 3 月 26 日（水）
午前 10 時 30 分～

1. あいさつ

2. 発表内容	ページ
（１）【皆さんに親しまれる施設になることを願って】 （仮称）深谷市こども館の愛称を募集します！	1
（２）【（株）セブン-イレブン・ジャパン、NPO 法人イエローハーツ、深谷市で】 『フードドライブ実施に関する合意書』を締結	2
（３）【渋沢栄一翁ゆかりの地を周遊する国内最長レベルの自動運転バスを運行】 県内初！コミュニティバスの定時定路線に自動運転を導入します	3
（４）【さらなる市民サービスの向上を目指して】 『書かない窓口』を拡大！新たに 26 の手続きを導入	6

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和 7 年 4 月 25 日（金）午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

皆さんに親しまれる施設になることを願って
(仮称) 深谷市こども館の愛称を募集します！

■ 概要

深谷市では、令和8年4月のオープンを目指して、県内最大級の子育て拠点施設であるこども館を建設しています。

こども館は、『いつでも 遊べる 学べる 子育てパーク』を基本コンセプトに、0歳から18歳のこどもたちが安心して遊び・学ぶことができ、保護者同士が交流し相談できる場となります。

こどもたちの健全育成や子育てを支える拠点として、利用者であるこどもたちや保護者をはじめ、市民の皆さんから親しまれ、愛着を持ってもらえる施設になるよう、こども館の愛称を募集します。

■ (仮称) 深谷市こども館の愛称募集

- ・応募資格 市内在住者 ※18歳未満は保護者の同意が必要
- ・応募期間 4月1日(火)～30日(水)
- ・応募要件 施設の機能・特徴などを踏まえ、わかりやすく親しみやすい愛称であること
- ・応募方法 インターネットの応募フォームから電子申請
※応募は1人1点まで

■ 採用作品の選定・結果発表

- ・選 定 選定委員会で優れた作品を絞り込み、市内小・中学生による投票を実施し、その結果をふまえて選定委員会で最終候補を選定
- ・結果発表 8月下旬以降に発表(予定)。採用者には、記念品として深谷市地域通貨ネギー30,000円分を贈呈

■ (仮称) 深谷市こども館概要

建 設 地	仲町536-1ほか7筆(深谷市産業会館跡地)
敷 地 面 積	約6,000㎡(併設する幼稚園を含む。)
建物床面積	こども館:約3,200㎡、幼稚園:約1,400㎡、給食場:約300㎡

※今回の愛称募集の対象施設は、こども館のみであり、公立幼稚園は含みません

■ 問い合わせ先

深谷市こども未来部 こども青少年課 ☎048-574-6646

(株)セブン・イレブン・ジャパン、NPO 法人イエローハーツ、深谷市で『フードドライブ実施に関する合意書』を締結

■ 概要

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集め、食品を必要とされるかたやこども食堂などに寄付する活動です。

深谷市では、子育て支援やこどもの居場所づくりの推進を目的として、株式会社セブン・イレブン・ジャパンおよび NPO 法人イエローハーツと、『フードドライブ実施に関する合意書』を締結しました。

なお、今回の合意書締結は、平成 28 年に締結した、深谷市と株式会社セブン・イレブン・ジャパンとの包括連携協定に基づき行ったものです。セブン・イレブン店舗でのフードドライブ実施は県内で 7 番目となります。

■ 合意書の締結日

3 月 21 日に調印式を開催

■ 合意書の内容

- ・市内のセブン・イレブンの一部店舗（21 店舗）に回収ボックスを設置し、店舗を訪れたかたから、未使用の食品の寄付を受け付ける
- ・寄付された食品を、NPO 法人イエローハーツをはじめとする、市内のこども食堂およびフードパントリー（7 団体）が回収し、必要としている方々に届ける
- ・市は周知活動などの支援を行う



▲回収ボックス

◀ 調印式の集合写真

■ 回収ボックス設置開始日および設置店舗

- ・設置開始日：3 月 21 日
- ・設置店舗：市ホームページに掲載



▲市ホームページ

■ 問い合わせ先

深谷市こども未来部 こども青少年課 ☎048 - 574 - 6646

渋沢栄一翁ゆかりの地を周遊する国内最長レベルの自動運転バスを運行 県内初！コミュニティバスの定時定路線に自動運転を導入します

■概要

深谷市では、令和5年6月に、埼玉工業大学を始めとした7つの事業者と『深谷自動運転実装コンソーシアム』を結成し、運転手不足などの市内公共交通の課題解決を目指す取り組みを推進しています。

この取り組みの一環として、4月から、深谷市コミュニティバス『くるリン』（以下、『くるリン』）に、県内初となる自動運転バスを導入します。将来的には、この自動運転バスによる『自動運転レベル4』での運行実現を目指します。

また、同時に『くるリン』定時定路線の運行を再編し、『地域の足』としての利便性向上を図るとともに、新1万円札の肖像である渋沢栄一翁のふるさとを訪れる観光客の増加に伴う観光ニーズに対応するため、『北部シャトル便＋周遊便』を創設します。



▲『くるリン』定時定路線『北部シャトル便＋周遊便』で使用する車両

■自動運転の導入ルート『北部シャトル便＋周遊便』

『くるリン』は現在、4路線の定時定路線と事前に日時とバス停を予約するデマンドバスを運行しています。今回、自動運転を導入するのは、定時定路線の中でも、『北部シャトル便＋周遊便』として渋沢栄一翁生誕地を周遊する『周遊便』コースです。

コースは、JR深谷駅北口を起終点とする全長約37kmで、営業運行の自動運転バスとしては、国内最長レベルの長距離運行となります。

＜北部シャトル便＋周遊便 運行コース＞



■『地産地消』の自動運転技術の導入

運行に使用する車両は、市内にある埼玉工業大学が、『くるりん』のために新たに構築した、地産地消の自動運転バス（全長約9m）で、深谷自動運転実装コンソーシアムの協力により、導入します。

当面の間は、自動運転の実施日や走行区間を限定して、運転手のいる『自動運転レベル2』で運行を行い、段階的に自動運転区間を増やして全線での自動運転を実現していきます。将来的には、運転手が車内にいない状態でも運転可能な『自動運転レベル4』の運行実現を目指します。

また、本路線の運行は、深谷観光バス株式会社が担当し、具体的な運行情報は、市ホームページ内の自動運転運行カレンダーで、随時お知らせしていきます。



▲市ホームページ

※埼玉工業大学による自動運転バスの開発

埼玉工業大学は全国に先駆けて2017年から市内の公道での実証実験を開始し、その後、全国各地の公道での実証実験に参加してきました。

本車両はその経験を活かして、埼玉工業大学により開発された『地産地消』の自動運転バスで、ISUZU エルガミオをベースにして『自動運転レベル4』への対応を目指した先進的な車両です。

全長9.12m、幅2.42m、高さ3.35m、定員53人、5.19ℓディーゼル車で、『自動運転レベル4』対応を目指したセンサーやカメラなどを装備し、自動運転システム用のオープンソフトウェア オートウェア Autoware*を採用しています。

*Autoware は、The Autoware Foundation の登録商標です。

■ 問い合わせ先

深谷市都市整備部 都市計画課市街地整備係（担当：荒谷、飯野、真下）

☎048 - 574 - 6654



1 北部シャトル便^{プラス}+周遊便

運賃 定時定路線バス 1回乗車 **200円** ※未就学児は無料

【無学年級超期生をの持ちちのわにえん】
 定期バス乗車券
50%割引
 定期

【無学年級超期生をの持ちちのわにえん】
 定期バス乗車券
50%割引
 定期

1枚/500円 (定額登録バスに一日何度も乗ることができます)
販売場所：定額登録バス車内、運行事業所の営業窓口

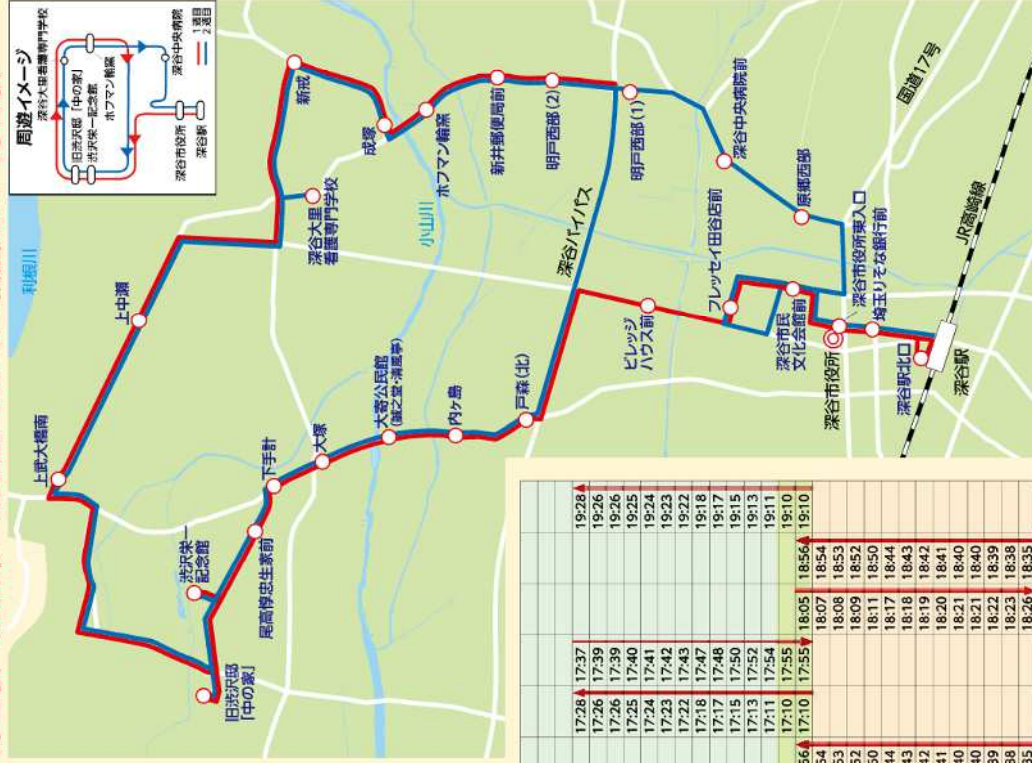
1枚/100円 11枚づつ(1,100円相当)/1,000円
販売場所：バス車内、運行事業所の営業窓口

1ヶ月/4,000円 3ヶ月/11,400円
販売場所：定額登録バス車内、運行事業所の営業窓口

■北部シャトル
深谷駅⇄深谷大里看護専門学校



■ 谷保駅 → 栄沢駅 → 記念館・ホフマン館 → 黒瀬川 → 谷保駅

[illegible]

【参考】『くるりん』再編後の運行内容（北部シヤトル便+周遊便）

※他のシャトル便に変更はありません

さらなる市民サービスの向上を目指して 『書かない窓口』拡大！新たに26の手続きを導入

■ 概要

深谷市では、令和2年7月の新庁舎オープンから、来庁者が複雑な申請書を作成する必要がない、『書かない窓口』を導入し、市民サービスの向上と職員の業務効率化を図っています。導入により、住民票などの各種証明書発行の平均時間が、20分から6分に短縮され、転居などの住民異動届の平均時間は、45分から13分に短縮されました。

このたび、こうした効果をより一層広げるため、4月1日（火）から新たに、転入とおくやみ（死亡に伴う関連手続き）に関する26の手続きに『書かない窓口』を導入します。

■ 『書かない窓口』対象手続き

とき	導入内容	導入手続き総数
令和2年7月27日～	・住民票、戸籍謄本などの各種証明書の発行 ・住民異動届（転入・転出・転居・世帯変更）など	5課68手続き
令和7年4月1日（火）～ ※3月19日から試験運用を実施中	・転入（後期高齢者医療被保険者関係事項証明書など） ・おくやみ（相続人代表者指定届など死亡に伴う関連手続き）	8課94手続き ※市役所本庁舎1階窓口の26手続きを追加

■ 『書かない窓口』導入効果

来庁者	複雑な申請書を自ら作成する必要がなくなり、負担軽減が図られるとともに、申請書類の作成時間が短縮されます。
職員	来庁者への聞き取りにより、申請書を職員が作成することで、申請内容を本人に再確認する事務などが減少します。

■ 今後の導入予定

ライフイベント（転入、転居、転出、結婚、離婚、出生、おくやみ）に伴い必要となる手続きに、順次拡大予定です。

■ 問い合わせ先

深谷市企画財政部 企画課 ☎048 - 574 - 8096